

Cente Technical Information

発行番号	001-0014	Rev	第1版	発行日	2010/02/22
題名	TCP SYNACKパケットの再送が止まらない現象について				
情報分類	障害情報				
適用製品	<ul style="list-style-type: none">・Cente TCP/IPv4 Ver.1.00 – Ver.1.31・Cente TCP/IPv4 SNMPv2 Ver.1.00 – Ver.2.11・Cente TCP/IPv4 SNMPv3 Ver.1.00 – Ver.2.10・Cente IPv6 Ver.1.00 – Ver.1.40・Cente IPv6 SNMPv2 Ver.1.00 – Ver.2.11・Cente IPv6 SNMPv3 Ver.1.00 – Ver.2.10				
	なし				
【詳細】 <p>Centeミドルウェア搭載の機器をTCP着信側として使用した場合、TCPの着信は以下のシーケンスで進みます。</p> <ol style="list-style-type: none">1 相手側機器からSYNを受信する2 SYNACKを送信する3 相手側機器からACKを受信する <p>このとき、上記「3」のACKを受信できなかった場合、上記「2」のSYNACKを再送します。それでもACKを受信できなかった場合、着信シーケンスを中断し、再び上記「1」のSYN受信待ちに戻ります。</p> <p>上記「1」で受信するSYNのウィンドウサイズは通常正の値を持っています。しかし、SYNのウィンドウサイズが0になっている相手側機器の場合、ウィンドウサイズが正の値のACKを受信するまでSYNACKの再送を繰り返します。この状態が発生すると、ウィンドウサイズが正の値のACKを受信するまで上記「1」に戻らないため、以降のTCP着信を受けることができなくなります。</p> 【回避方法】 <ul style="list-style-type: none">・相手側機器の設定または実装を見直し、SYNのウィンドウサイズが0にならないようにする。・ソースコードを改変し、SYNのウィンドウサイズが0だった場合もPERSIST状態には移行せず、通常の再送回数で中断するよう修正する。 (改変箇所については、別途お問い合わせください。) <p>以上</p>					